

2022年12月期 第3四半期決算説明資料

当社の設立は2018年7月ですので、2018年6月までの実績は
モバイルクリエイイト株式会社の連結実績で集計しております



中期経営計画概要	p. 2
2022年12月期3Q決算概要	p. 5
事業のトピックス	p. 11
決算数値補足資料	p. 19
会社概要	p. 23

中期経営計画概要

FY2022 – FY2024

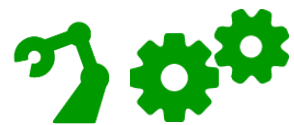
IoT事業を支えるマシン事業とスマートシティ事業

IP無線 タクシー バス トラック ペイメント ホテル ロボット ドローン

IoT（基盤拡大+成長投資）



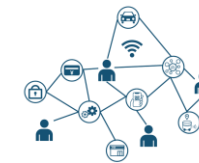
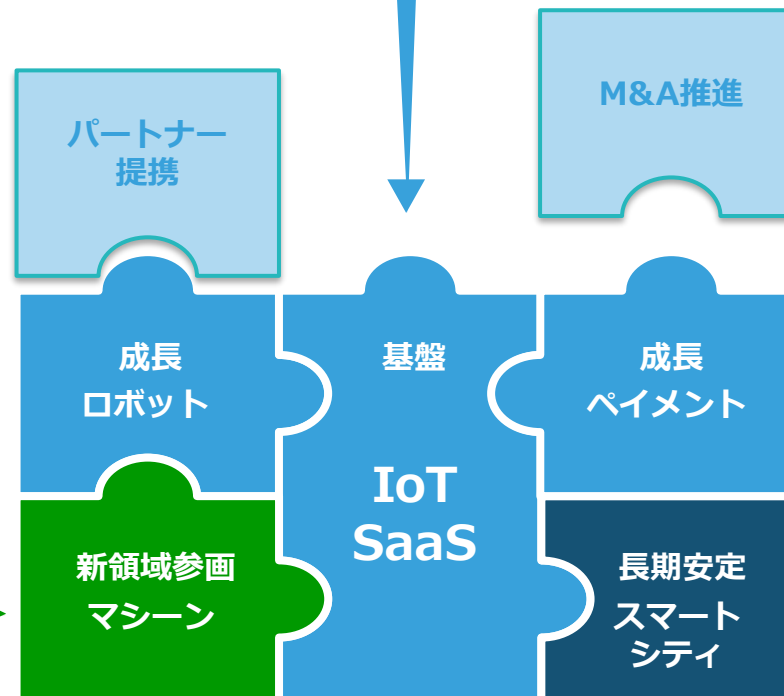
積極的投資とM&A推進による成長
 基盤のIoT×SaaS事業拡大
 ペイメント事業とロボット事業を新たな中核事業に発展（3年後に単独セグメント化を目指す）



半導体製造・自動車関連装置
 ロボット製造

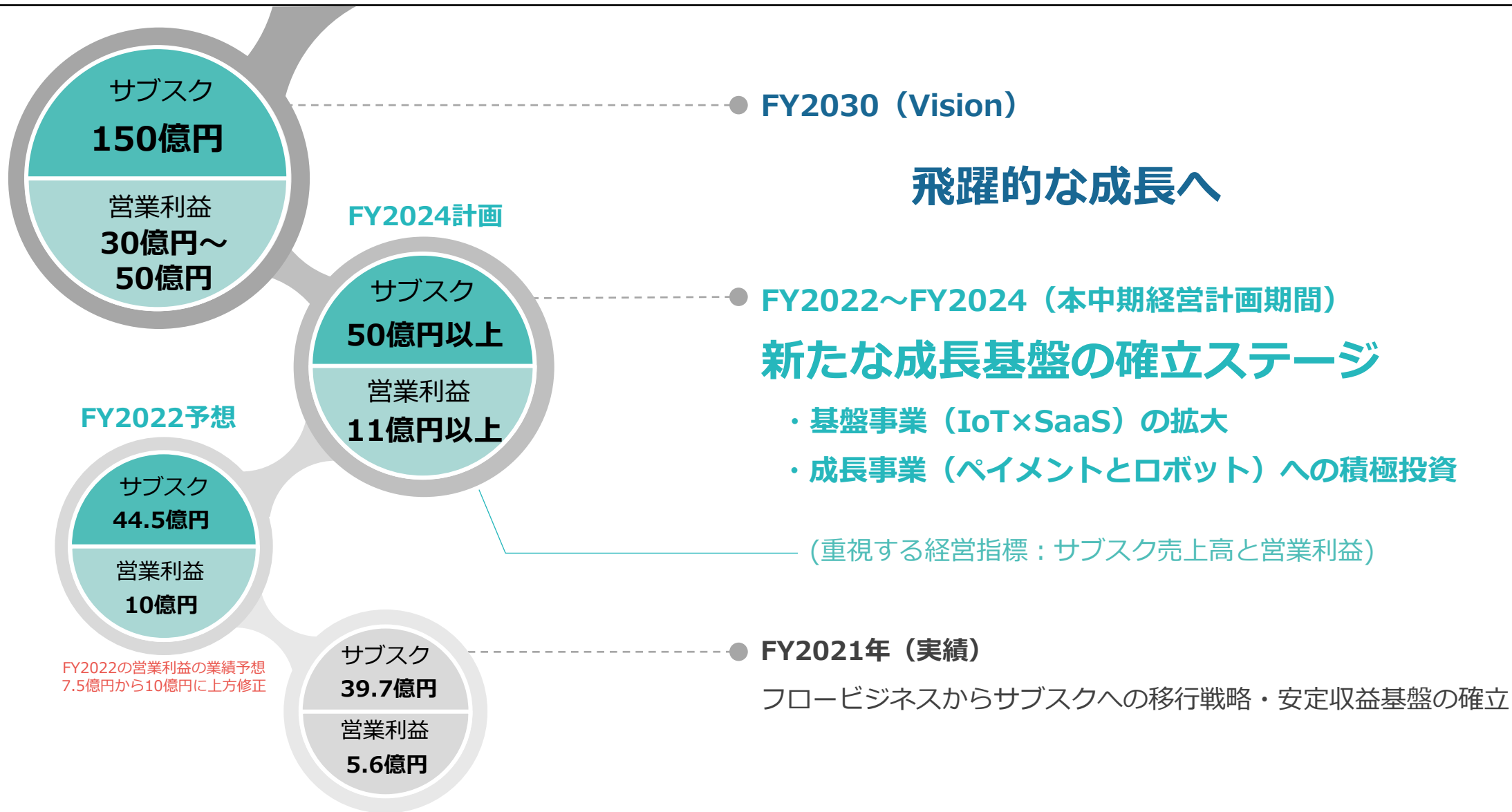
マシン（改革・新領域参画）

IoTに必要なモノづくりの技術領域として
 規模拡大ではなく質の向上（収益改善）
 ロボット事業に本格的参画（改革）



スマートシティ（長期安定）

賃貸マンション30年一括借上契約
 の長期安定収益
 スマートシティの実証フィールド
 としてIoTを支える



2022年12月期3Q決算概要

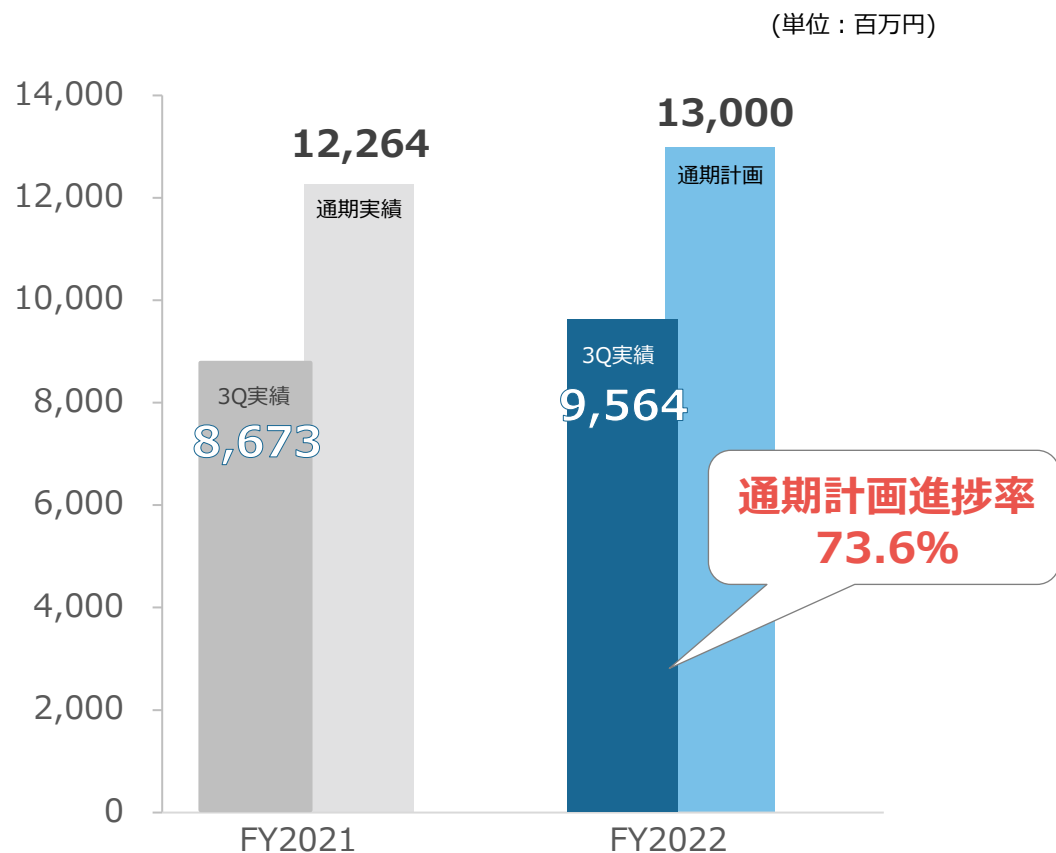
売上高・営業利益ともに過去最高（3Q累計）

- ✓ IoT事業が好調で、3Q四半期会計期間の営業利益は前年同四半期比+183.9%
- ✓ サブスク売上高は、四半期ベースで11億円を突破
- ✓ マシン事業は、中国のロックダウン長期化で再度の調達部品長納期化が発生したものの黒字を維持
- ✓ 2022年9月14日に通期業績予想を修正（営業利益は期初予想750百万円から1,000百万円へ再修正）

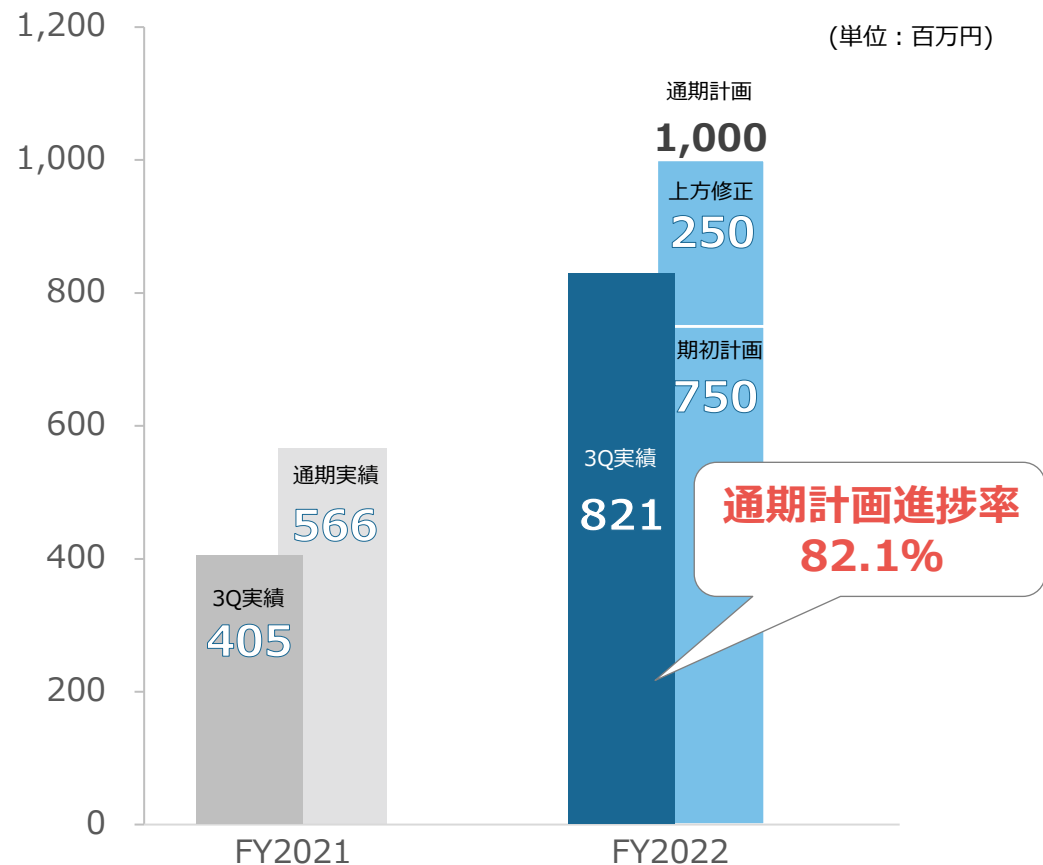
売上高（全体）	9,564百万円	前期比+10.3%
うちサブスク売上高	3,258百万円	前期比+10.1%
営業利益	821百万円	前期比+102.6%

売上高・営業利益ともに過去最高（FY2022 3Q累計）

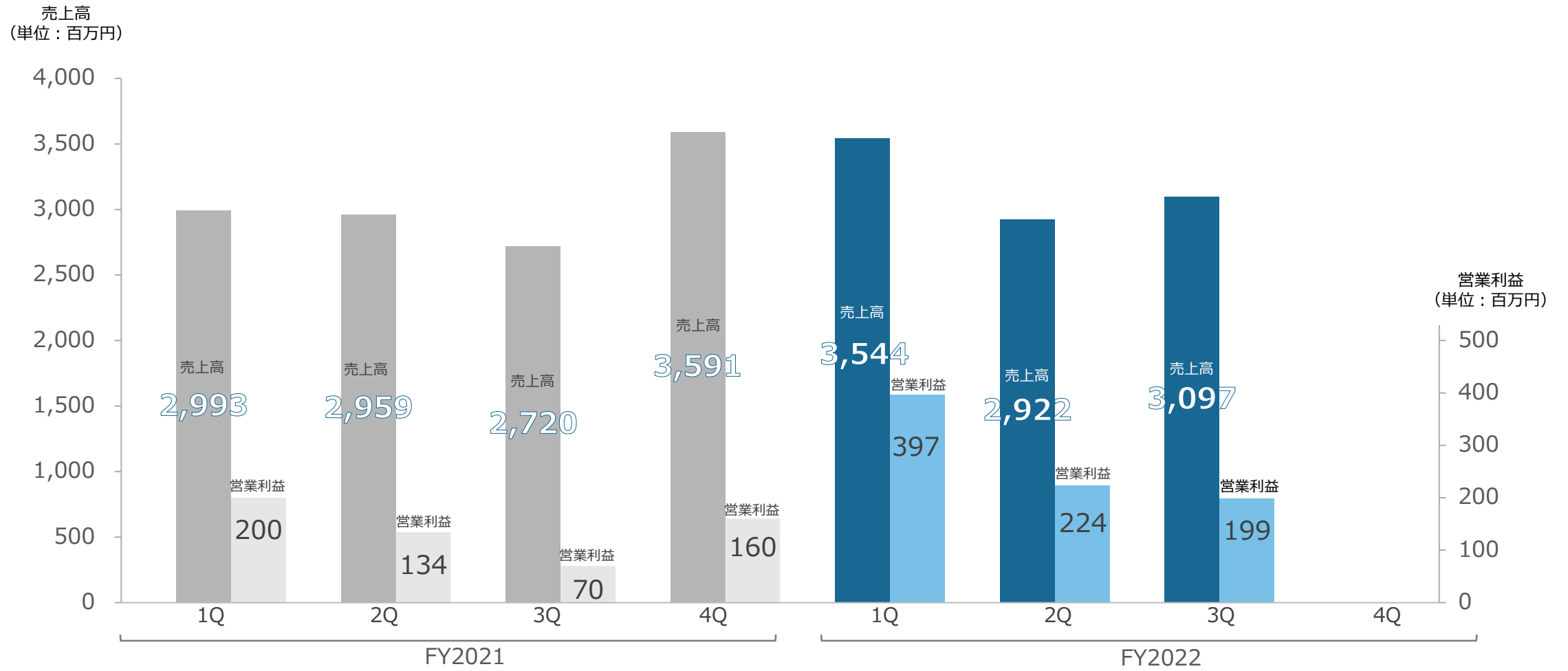
売上高



営業利益



四半期業績推移（売上高・営業利益）

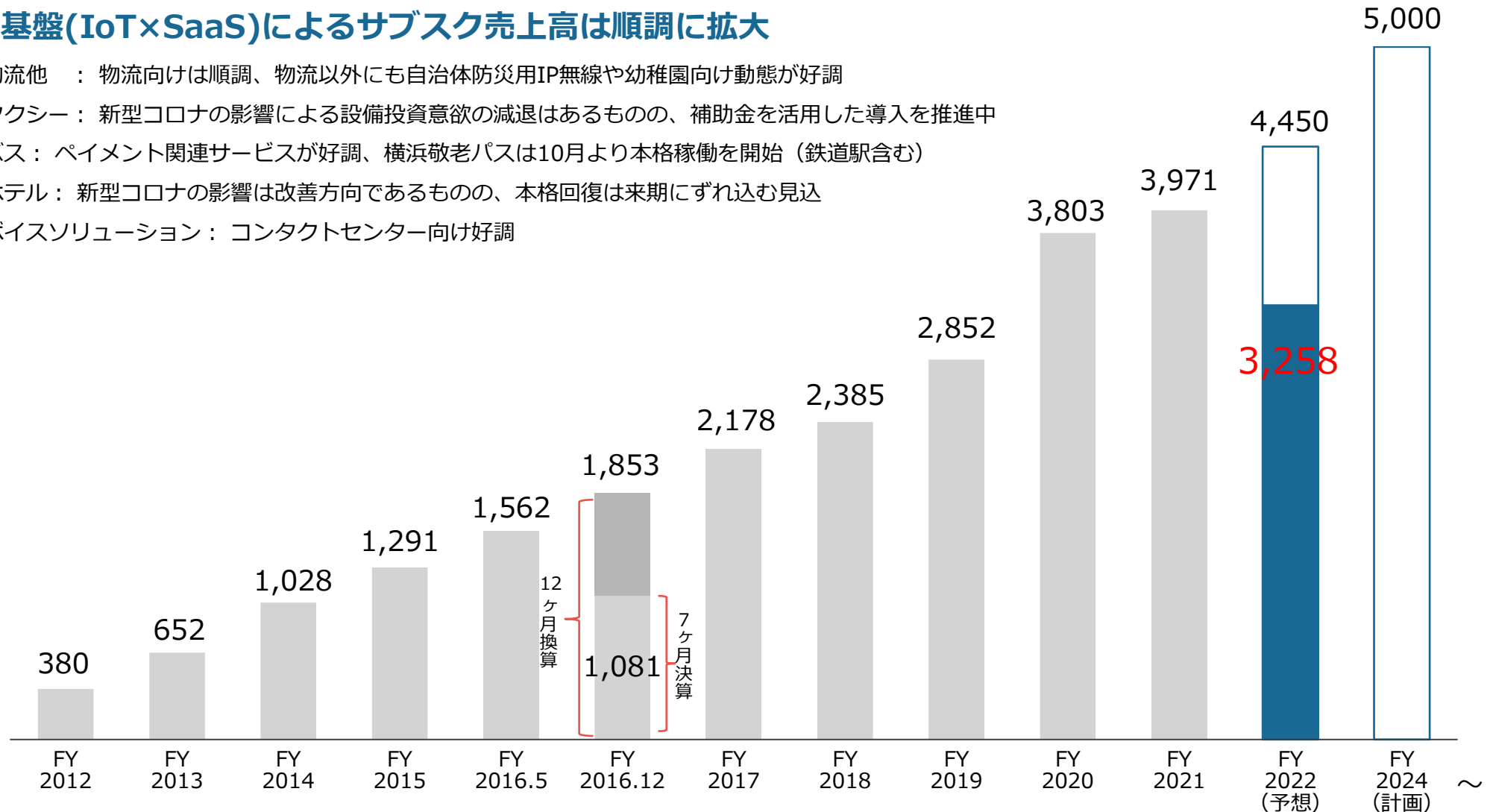


サブスク売上高の推移

(単位：百万円)

収益基盤(IoT×SaaS)によるサブスク売上高は順調に拡大

- ✓ 物流他：物流向けは順調、物流以外にも自治体防災用IP無線や幼稚園向け動態が好調
- ✓ タクシー：新型コロナの影響による設備投資意欲の減退はあるものの、補助金を活用した導入を推進中
- ✓ バス：ペイメント関連サービスが好調、横浜敬老パスは10月より本格稼働を開始（鉄道駅含む）
- ✓ ホテル：新型コロナの影響は改善方向であるものの、本格回復は来期にずれ込む見込
- ✓ ボイスソリューション：コンタクトセンター向け好調

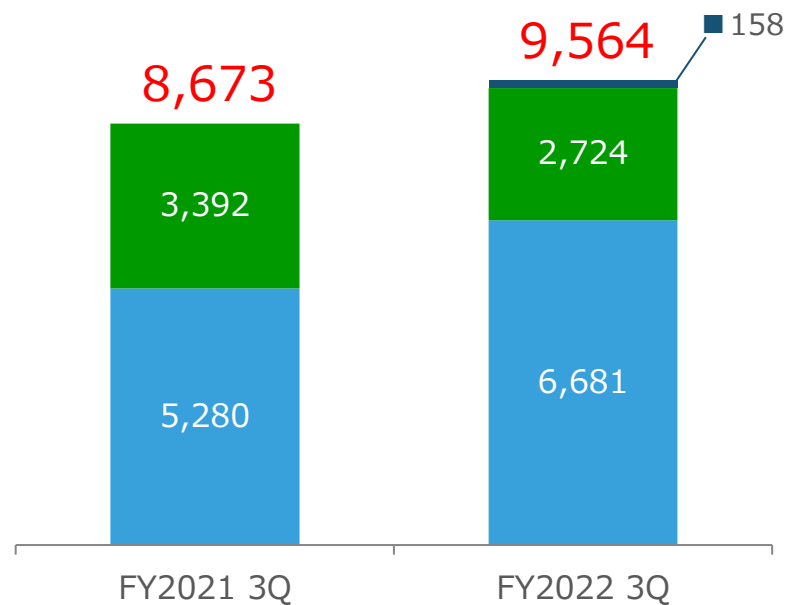


セグメント別業績（3Q累計）

売上高

(単位：百万円)

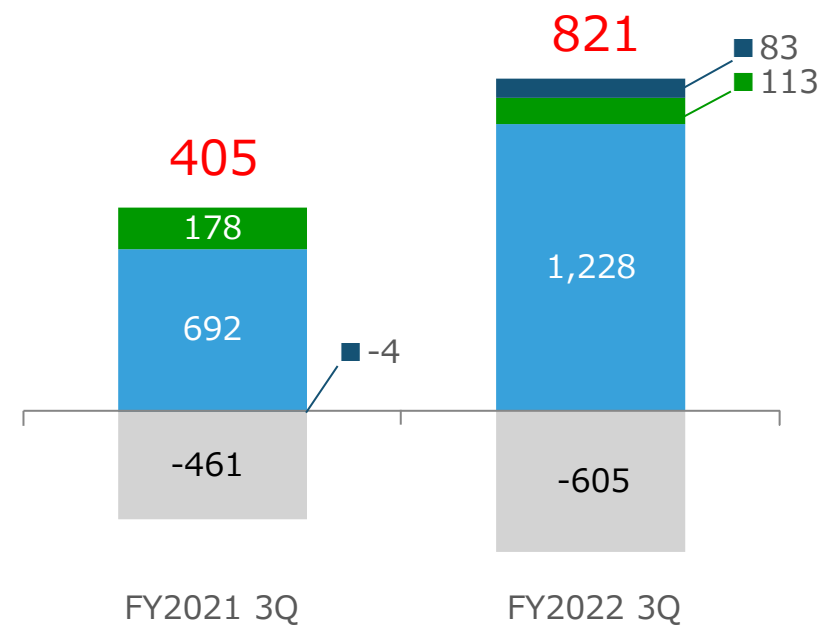
■ IoT ■ マシーン ■ スマートシティ



営業利益

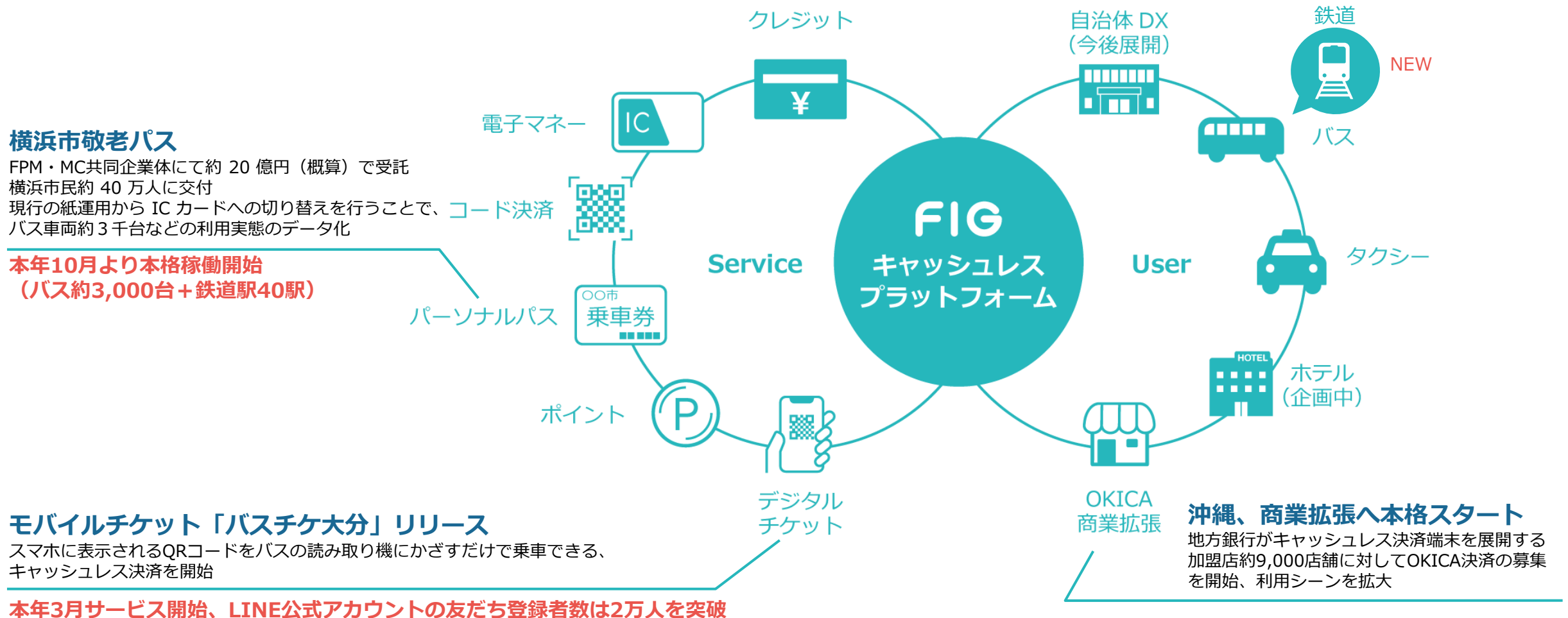
(単位：百万円)

■ IoT ■ マシーン ■ スマートシティ ■ 調整額

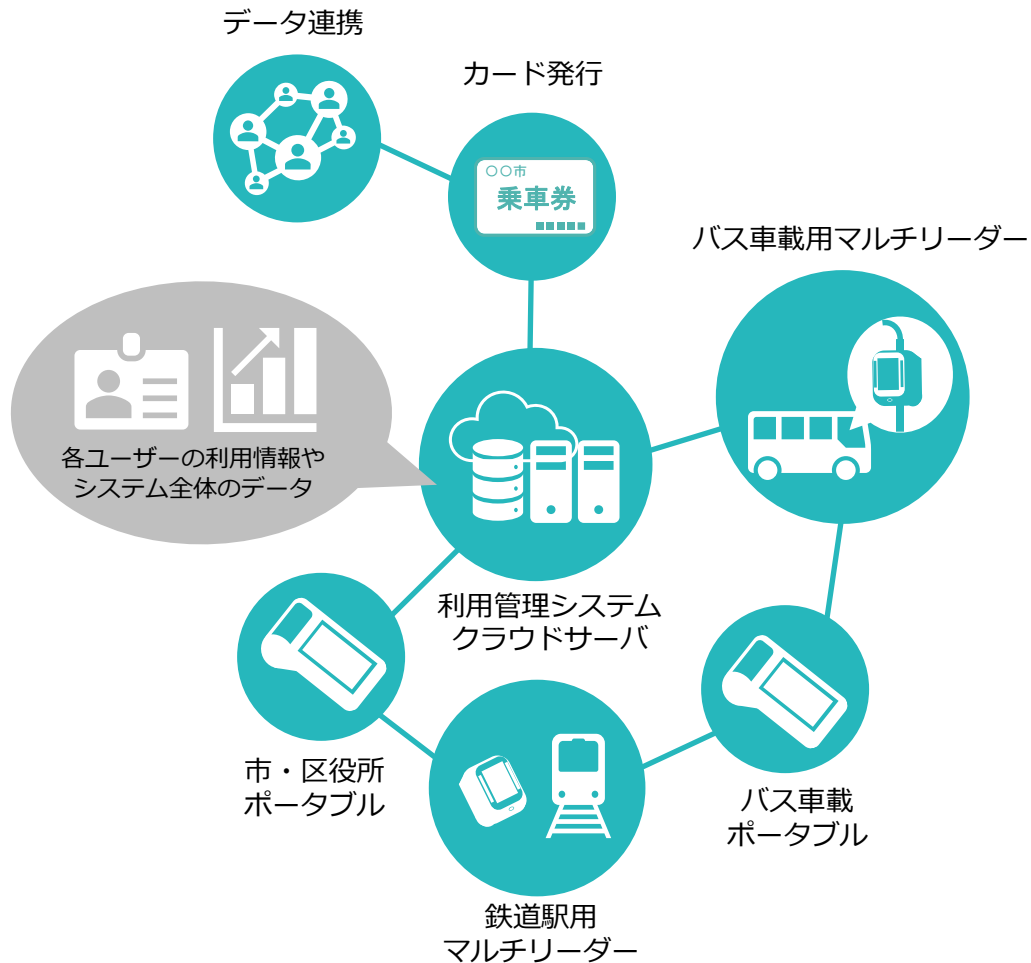


事業のトピックス

キャッシュレスプラットフォームを構築中（順次サービスを拡大）



システム概要



敬老パスIC化

横浜市内を運行するバス約3千台と地下鉄40駅にリーダーを設置。利用者がIC化された敬老パスをかざすことでカードの有効期限などから利用可否を判断し計数を行うシステムの本格稼働開始。



横浜市民 約40万人に交付

今後の展開

- ✓ センター集約型のABT方式（Account Based Ticketing）にてシステムを構築しているため柔軟な拡張が可能
- ✓ 他地域への横展開とサービス拡張
- ✓ FIGキャッシュレスプラットフォームと連携することで、決済・乗車券・ポイント・データ活用など様々なクラウドサービスが展開可能



両社で目指す市場規模（物流・工場向け）

2024年
目標規模 **50** 億円以上

現在、国内大手製造メーカーへの導入フェーズ入り

GTP「Goods To Person」 棚搬送ロボット

- ✓ 床面に碁盤目状に敷設した2次元コードを読み取りながら搬送するタイプ
- ✓ 従来、人が棚まで歩いてピッキング作業をしていたところを、ロボットが棚を持ってくることで人の移動時間を大幅に削減
- ✓ 停止精度が高いためコンベヤなど他設備との連携も可能

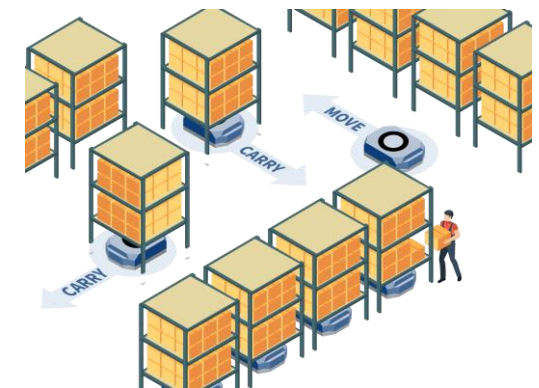
資本業務提携の進捗状況

- ✓ 当社グループへの製造委託開始
- ✓ 経営面・技術面・営業面で人材を派遣し、本格的連携スタート
- ✓ 純国産ロボットへの期待は高く、大手メーカーより引き合い多数
- ✓ FY2023年より本格的成長を見込む

主力商品



TiTra G (GRIDタイプ)
搬送重量 500kg, 1000kg



成長事業（ロボット） 自社オリジナル搬送ロボット「WILL」の量産試作機が完成



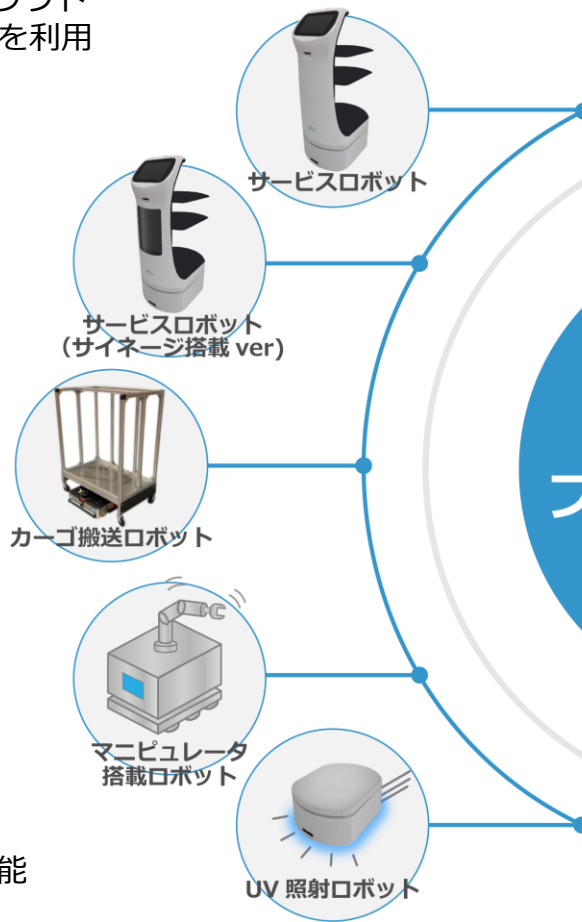
自社オリジナル搬送ロボット「WILL」の量産試作機が完成

純国産のサービスロボット。これらロボットとシステムとクラウドが連携したAMRプラットフォームにより、クラウドシステムを利用したロボット制御の統合管理を実現。



- ✓ システム情報はすべて国内サーバに配置
- ✓ 上下ユニット分離構造で幅広いカスタマイズに対応可能
- ✓ 安全規格ISO3691-4対応

ロボット



導入先



成長事業（ロボット）ラインナップ

自社オリジナル 搬送ロボット



グループ各社の技術を活かした 「WILL」

ニーズに合わせて上部機構をカスタマイズし
様々なシーンで活用が期待されるサービスロボット
純国産ロボットとして
システム情報のセキュリティを確保

▶▶▶ 量産試作機完成

FA向けロボット



自律走行ロボット FAモデル

人の手で行われている工場内搬送を自動化するためのFAモデル
多様化するモノづくり現場にもスムーズに導入可能
ISO3691-4対応モデルとしてブラッシュアップ中

▶▶▶ 改良・拡販へ

クリーンルーム対応 人型協働ロボット



モバイルマニピュレーター 「CiMoMa-SLIM」

大手医療機器メーカー・半導体メーカーへ導入
クリーンルーム内での空気清浄度の検査を人からロボットへ
生産工程内での製品搬送作業を人からロボットへ

▶▶▶ 導入実績拡大中



モバイルマニピュレーター 「CiMoMa-GIANT」

可搬重量を増した大型MoMaもラインナップに加え
幅広いニーズに対応可能

▶▶▶ 大型MoMa1号機完成
出荷・導入完了

iMESH for LINE (バスロケ edition)

- ✓ 地域のコミュニティバスや高速バス、各種送迎バス向け
- ✓ 既存の高機能版ではなく、乗客向け機能に限定した構成でLINEを活用したバスロケーションシステム



主な機能

- ✓ 走行中のバスの位置情報を地図上でリアルタイムに確認
- ✓ 指定した停留所の時刻表を表示
- ✓ バスの遅延分数を表示
- ✓ 設定したバスが近付くと接近通知を受信

iMESH×FlexVNote連携 (自動文字起こし)



局番	通話時間	音声認識結果テキスト
601	00:00	こちら本部です音声聞こえますかどうか
500	00:08	はいこちら現場です聞こえてますどうぞ
601	00:15	災害の状況いかがでしょうかどうぞ
500	00:22	こちらの被害は小規模です何か指示ありますかどうぞ
601	00:31	この作業が落ち着きましたらB班と合流してくださいどうぞ
500	00:39	了解しました

主な機能

- ✓ PCで音声通話の文字起こしの閲覧
- ✓ 文字起こしをした会話内容の検索
- ✓ 音声データ、テキストデータのダウンロード
- ✓ 文字起こしのもととなった通話を再生

決算数值補足資料

業績サマリー

単位：百万円

	FY2021 3Q累計	FY2022 3Q累計	増減額	増減率	FY2022 通期修正計画	進捗率	(参考) 通期期初計画
売上高	8,673	9,564	891	+10.3%	13,000	73.6%	13,000
売上総利益	2,346	2,964	617	+26.3%	—	—	—
営業利益	405	821	415	+102.6%	1,000	82.1%	750
経常利益	408	799	391	+95.7%	962	83.2%	712
最終利益	266	534	267	+100.6%	650	82.2%	474
EBITDA	729	1,151	422	+57.9%	—	—	—

※最終利益 = 親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

セグメント別業績（四半期推移）

単位：百万円

売上高	2021年12月期					2022年12月期					前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	増減額	増減率
連結	2,993	2,959	2,720	3,591	12,264	3,544	2,922	3,097		9,564	+891	+10.3%
IoT	1,870	1,717	1,692	2,171	7,452	2,389	2,120	2,172		6,681	+1,400	+26.5%
マシーン	1,122	1,242	1,027	1,419	4,812	1,119	746	859		2,724	△668	△19.7%
スマートシティ	-	-	-	-	-	36	55	66		158	+158	-

営業利益	2021年12月期					2022年12月期					前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	増減額	増減率
連結	200	134	70	160	566	397	224	199		821	+415	+102.6%
IoT	296	198	197	269	961	560	318	349		1,228	+536	+77.5%
マシーン	47	89	40	112	290	△2	74	40		113	△64	△36.3%
スマートシティ	△1	△1	△1	△1	△5	20	36	27		83	+88	-
調整額	△142	△152	△166	△219	△680	△181	△205	△218		△605	△144	-

貸借対照表

単位：百万円

	2021年12月期末		2022年12月期3Q			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	補足
流動資産	9,846	51.9%	12,898	63.6%	+3,051	リース投資資産 +2,492
うち現預金	2,414	12.7%	2,192	10.8%	△221	
固定資産	9,125	48.1%	7,390	36.4%	△1,735	建物及び構築物 +844 建設仮勘定 △2,942
資産合計	18,971	100%	20,288	100%	+1,316	
流動負債	7,068	37.3%	4,933	24.3%	△2,134	短期借入金 △2,098
固定負債	3,024	15.9%	6,150	30.3%	+3,126	長期借入金 +3,136
負債合計	10,093	53.2%	11,084	54.6%	+991	
純資産合計	8,878	46.8%	9,203	45.4%	+325	
負債・純資産合計	18,971	100%	20,288	100%	+1,316	

※ スマートシティ事業完成（2022年2月より賃貸開始）に伴う、資産科目振替・証書借入及び短期つなぎ資金の返済等

会社概要

会社概要



Future Innovation Group

FIG (東証プライム・福証本則)

純粋持株会社

商号

FIG株式会社 (Future Innovation Group, Inc.)

設立

2018年7月2日 ※グループ前身のモバイルクリエイイト設立は2002年

代表者

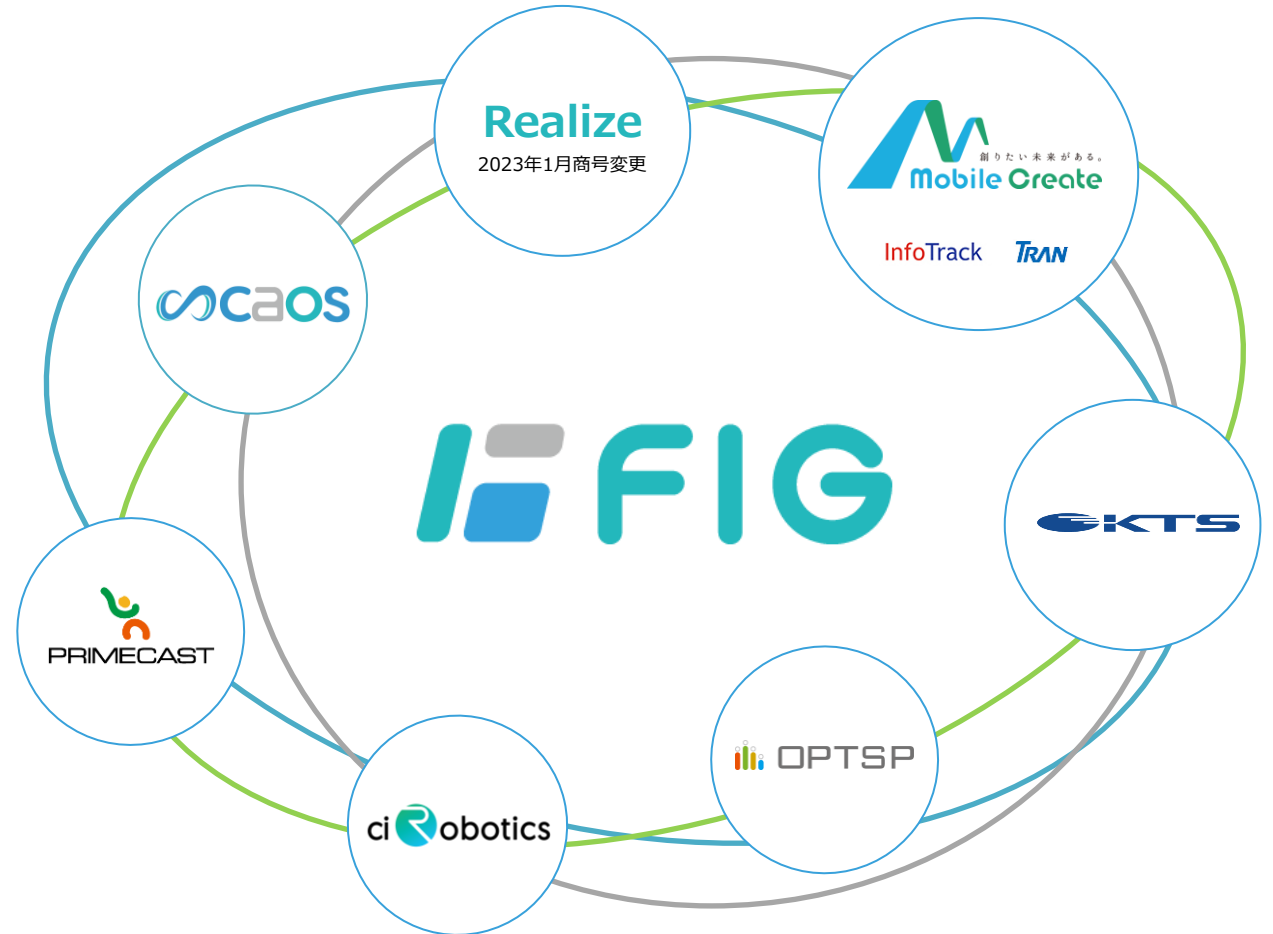
代表取締役社長 村井 雄司

所在地

大分県大分市東大道二丁目5番60号

従業員数

697名 (2021年12月末現在連結)



FIGグループの主な事業紹介

IP無線システム



携帯インフラを活用したIP無線システムのパイオニア。主力の車載タイプに加えて、防災市場ではハンディータイプが好調でLINE連携も展開。

タクシー配車システム

タクシー配車システム、車載端末はタブレット化でメーターと連動。配車室受託が好調で、ユーザー向けLINE配車もサービス開始。



電子決済システム

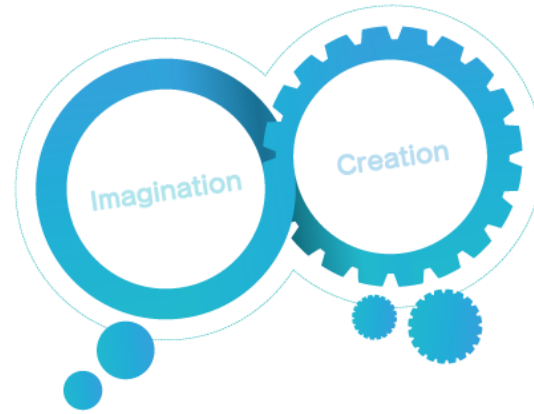
得意とする公共交通を中心にペイメントサービスを展開し、高いセキュリティ基準であるPCIDSSも取得。沖縄本島IC乗車券システムのOKICAは、商業拡張をスタート。



バスロケーションシステム



バスの経路や乗り継ぎ検索、接近情報などをバス利用者へ提供。バスロケーションシステムでは、国内トップレベルのシェア。デジタルサイネージや混雑情報システムなども展開。



半導体・自動車関連自動化装置

自動車部品を製造する装置を開発から設計・製造・組立・販売・サービスまでトータルで手掛け、メーカーとして高い評価を得ています。



ホテルスマート化



ビジネスホテルやシティーホテル向け客室のマルチメディアシステム、リネンシステム（客室清掃管理）や施設混雑案内システムなどIoTを活用しています。

産業用ロボット



マップデータを元に走行を行い、マニピュレーターが人の代わりに作業を行います。ロボットシステムインテグレーターだけでなく、自社オリジナル搬送ロボットも開発中。

ドローン








産業用ドローンの開発・販売を行っています。ドローン活用における省人化の実証実験にも参画しています（ドローン宅配・スマート農業・血液検体の輸送など）。

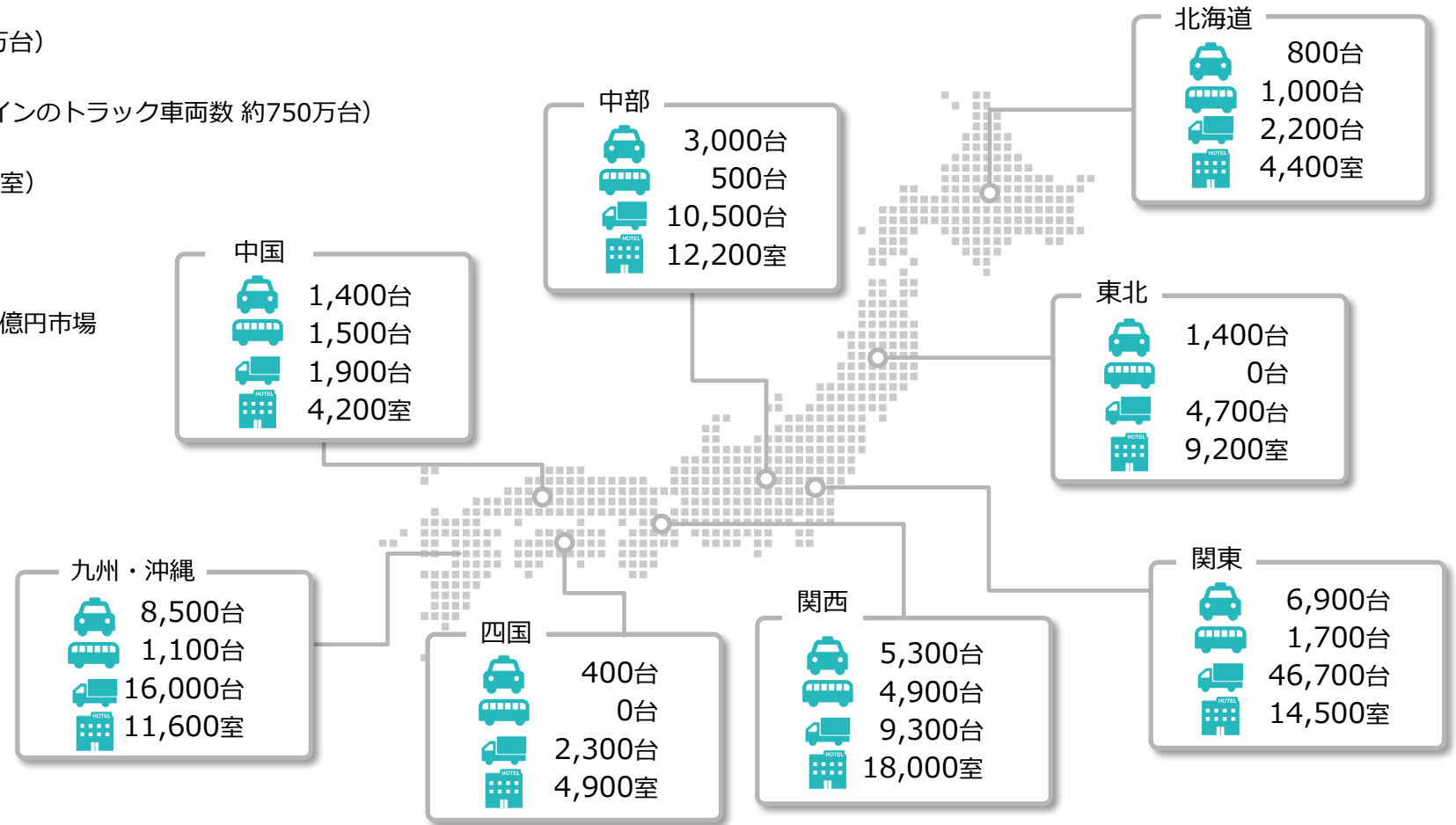
IoT×SaaS事業（サブスクの顧客基盤）

顧客基盤（月額サービス契約数は21万件+a）

2021年12月時点

- 
 ・・・・タクシー 約27,700台
 （シェア13%、タクシー車両数 約22万台）
- 
 ・・・・バス 約10,700台
 （シェア21%、路線バス車両数 約5万台）
- 
 ・・・・物流他 約93,600台
 （IP無線車載タイプシェアNo.1、メインのトラック車両数 約750万台）
- 
 ・・・・ホテル 約79,000室
 （シェア7%、ホテル客室数 約110万室）

- 
 ・・・・ボイスソリューション法人契約数274件
 ※コンタクトセンターソリューションは約5千億円市場



ESG・SDGsの視点を取り入れた事業戦略でサステナブル経営を目指す



Environment

ITで地球環境負荷低減へ貢献

- 自社の製品・サービスによる環境負荷低減
- 事業活動で排出される廃棄物削減、資源化率の向上、自然エネルギーの利用
- 有害物質使用削減への取り組み
- 地域環境の保全



Social

グループの技術で快適な未来を創造

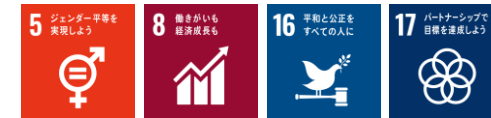
- Society5.0の社会を支える技術・サービスの提供（ドローン・ロボット）
- 持続可能な地域交通に貢献する（バス・タクシー）
- キャッシュレス化社会の実現に貢献する
- MaaSの普及に貢献する
- 防災・減災・安全に貢献する
- スマートホテルを実現する技術の追求
- はたらきやすさ（健康増進・ダイバーシティ推進）を提供する



Governance

経営基盤を強固にするためのガバナンスの強化

- コーポレート・ガバナンスの徹底
- 社外役員の登用
- 役員報酬額の決定方法
- コンプライアンスの順守・研修の実施
- 反社会的勢力排除への対応
- 情報セキュリティの強化





Future Innovation Group

【 連絡先 】 F I G株式会社 経営企画本部
【 住所 】 大分県大分市東大道二丁目5番60号
【 T E L 】 097 - 576 - 8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。